

第3回仙台市みどりの基本計画改定検討部会における意見の概要

分類		意見要約
1	計画全般	次期仙台市基本計画（中間案）の「チャレンジする」という姿勢を緑の基本計画でも示す必要がある。SDGsやコロナ禍に言及がないことは舌足らずな印象をうけるため、計画には反映すべきである。
2	基本理念	グリーンインフラの施策はハード整備に寄ってしまいがちであるが、目指すGreenest Cityにグリーンインフラがどのように貢献するのかということを示していく必要がある。みどりの量を増やすことだけがGreenestではなく、これまで取り組んできた「百年の杜づくり」にグリーンインフラの考えを取りこみ、市民が関わっていくと街がどのように変わるのかというストーリーを示す必要がある。
3	みどりの将来像	将来像は「～になりたい」という意思を示す必要がある。
4		「みどりの将来像」と「基本方針」の文言が似ており、差が分からない。
5	みどりの将来像と基本方針について	みどりの将来像と基本方針の差が分かりづらい。「Greenest City」等の理念が連想できるようにしてほしい。
6	取組の姿勢	みどりの予算は頭打ちにあるため、みどりだけにフォーカスした計画にせず他分野との横断的な内容にしないと、投資を呼び込むまちには繋がらない、整理が必要である。
7		市民には分かりづらく、グリーンインフラに対する仙台市としての整理が必要である。
8	基本方針	基本方針の詳しい説明が必要である。
9		基本方針「みどりで人を育てる」は人づくりの要素が多分に含まれるので、人づくりを意識した見せ方が必要である。
10	基本施策	施策の柱1,2の表現が甘い。本当に防げるのか。全国各地で水害が起きている。例えば、農地の保全に取り組むとあるが、具体性に欠けるため、取組の根拠となる制度概要を記述するだけでなく、具体的な内容を書き込んでほしい。
11		「資料2」の主な事業・取組みには、事業期間などに応じた優先順位付けが必要である。
12	グリーンインフラ	改定中の関連計画にグリーンインフラの考えが盛り込まれるように整合を図ってほしい。
13		資料4-1のようなグリーンインフラの捉え方は大事であり、各取組みをエリアで分けるのは良いと思う。分けた上で更にそれぞれのエリアでグリーンインフラの図（将来像）があると良い。エリア毎で課題や可能性があるのだと思う。また、事業には優先度をつけて見せていく必要がある。
14		「世田谷区豪雨対策行動計画（平成30年度改定）」は同区の緑の基本計画、環境基本計画の改定と同時期に見直されたものであり、流域治水の考え方として、グリーンインフラが取り入れられ、定量的な努力値も盛り込まれた。仙台でも緑の基本計画の目標に雨水対策が位置付けられると良い。みどりと土木が連携していく必要がある。
15	他分野の計画にグリーンインフラの施策が位置付けられるようにしてほしい。グリーンインフラに関するすべての事業を緑政で担おうとすると大変である。	
16	その他	市民参画イベントはイベントという形式に拘らずに、緑の基本計画に市民意見が取り込めるように何かしら実施してほしい。